プレゼンテーション等によって、表現・発信、想像する力

HYOGO スクールエバンジェリスト 加東市立東条学園小中学校 石井 真史

本時の目標 ・聞き手(中学校 年生)の視点に立ち、スライドの内容やアニメーション等を工夫したプレゼンテーションを作成できる。・他の班のスライドや発表を見て、自分たちのスライドや発表をよりよくするための意見を交換することができる。	校種・学年	中学校·2年
	教科·領域	総合的な学習の時間
	アプリ・ソフト	・Google スライド
	備考	

○本時の展開

○学習活動 (◆指導上の留意点)

○発表原稿の確認を行う。

導入

◆他の班の発表時に、スライドや原稿の修正点 について考えるよう伝える。

スライド発表の交流を通して、改善点を 考えよう

展開

- ○発表時には、スライドやクイズを出すタイミング 等、確認をしながら行う。
- ○発表を聴くときには、スライドの色合いや、アニメーションが見やすいかなど、聞き手の視点からアドバイスできるよう意見を考える。
- ○各班長が意見のとりまとめを行い、スライドの 修正や、クイズ等の呼びかけについて改善点 を考える。

まとめ

◆スクリーンに映されたスライドを見て、文字の 大きさや背景色、写真の説明など、より分かり やすい発表にするためのアドバイスをする。

育成できる情報活用能力

◎スライドの内容やアニメーション等を工夫したプレゼンテーションを作成する過程を通して、自分たちが学習した内容を、より分かりやすく人に伝える方法を考えることができる。

活動内容

- ・温泉の利用者や商品を購入しに来た人の接客
- ・館内掃除

- ・桶、イスの洗浄や浴槽の掃除
- ・塩素管理やオーバーフロー



↑発表の様子

生徒の感想

- ・スライド内の文字のフォントや色を変えるだけで、見る側の印象が変わりました。
- ・写真に活動の説明を加えると、より見 やすくなりました。班での交流をする ことで、本番に向けて修正することが できて、安心しました。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・他の班からアドバイスをもらうことによって、スライドを作成するときには意識していなかった部分に目を向けて、発表を見直 すきっかけにすることができた。
- ・適度にアニメーションや吹き出しを使うことで、見る側も楽しめるよう工夫することができた。